

中澤：ホームサポーターをされていて、うれしいことは何ですか？

安達さん：お子さんが自分のミニカーを並べて見せてくれたり、帰る時に「帰っちゃやだー」と抱きついてきたりされると「可愛くてね。お母さんと私で話している時に「僕のおばちゃんだよ」と間に入ってきたり。

中澤：たまりませんねえ。

安達さん：そういう子どもたちが、大きく成長した姿を見られるのもうれしいものです。町を歩いていてパツパツ会って「この子はお腹の中に入れてあげよう」とお母さんと話したり。

中澤：ソノオバだと、それが出来なくて大変なんですよ。集中できれば短時間でできることも、子どもの世話をしながらなかなか終わらなくてストレスになって。どっちかを頼めるというのはありがたいですよ。

うれしいこと

中澤：多胎家庭へのサポートの必要性は、2018年の事件を機に全国的に高まっています。妊産中から乳幼児期にかかる負担が大きく、虐待リスクも高くなってしまっている。その時期に支援があることで虐待を未然に防いで健全に過ごせるようになる家庭が多いという研究結果が出ています。

中澤：多胎家庭へのサポートの必要性は、2018年の事件を機に全国的に高まっています。妊産中から乳幼児期にかかる負担が大きく、虐待リスクも高くなってしまっている。その時期に支援があることで虐待を未然に防いで健全に過ごせるようになる家庭が多いという研究結果が出ています。

松江市は全国的にみてもかなり早く、ニーズに合った素晴らしい制度を作ってくださいました。子育て支援センターの皆さんと、実施して下さっている皆さんに感謝しています。本日は、産後必要な全てのお母さんたちに数回分でも自己負担なしで使ってもらえるようになることいいなと思っています。



中澤：どんな風にサポートをご利用してもらいたいですか？

小林さん：近所のおばちゃんのような感覚で、頼んでもらいたいと思います。二両親祖父母が遠方の場合は、特に大変ですから。

中澤：近くに親御さんがいても、お仕事や介護などの事情があって頼れない人も多いです。大変な時期は無理して抱え込まずに、他の手を借りられる方が良いでしょう。

安達さん：多少お家が散らかっていても、そのために頼むんだから気にしないで頼んでほしいです。でも、できないことはできないから、断ることもありますよ。

中澤：サポーターさんに無理がかかるといけないですね。

小村さん：核家族が進み、地域や近所での助け合いも時代と共に難しくなってきたので、その分行政がサポートする必要があるのだと思います。今後も利用しやすい制度作りと、各制度や事業所のPRに励みます。



中澤：お話を聞かれていかがでしたか？

小村さん：ホームサポーターさんの話を伺う機会はなかなかないので今日は勉強になりました。「みちよって」でこうして制度をPRしてもらえてありがたいです。

中澤：お二人のように頼もしいホームサポーターさんの存在は大きいですね。

小村さん：そうですね。サポーターさんが少ない地域もあるのですが、そうした地域への働きかけもしていきたいです。

※ホームサポーターさんへのご依頼については本誌19ページ「訪問型子育てサポート」をご参照下さい。

こんな人に支えられている松江の子育て

子育てホームサポーター シルバーさん

子育てホームサポーターとして、各家庭で家事や育児のお手伝いをされているお二人と、松江子育て支援センター小村さんにお話を伺います。



おむら ともひろ 小村 智宏さん 4月から子育て支援センターに。お子さん3人。

こばやし ゆうこ 小林 優子さん 3年前からホームサポーターに。お孫さん9人。

あだち ふみこ 安達 文子さん バテランホームサポーターさん。お孫さん1人。

中澤：ホームサポーターのお仕事をされるようになったきっかけを教えてください。

安達さん：平成18年に定年退職した後、シルバーに申し込みをしました。もう15年になります。研修を受けて認定をもらって、子ども好きだからですね。民営の保育所に勤めていたこともあります。

小林さん：3年前に定年退職して、仕事をするのも子どもも好きなので、シルバーに申し込みをしました。

中澤：どのくらいの時間でどんなサポートをされているのですか？

安達さん：食事作りとお掃除の両方をしていただくことが多いですね。1時間のこともあります。まずシシクの中を片付けてから調理をして、片付けや部屋の掃除をして。冷蔵庫にあるもので何か作って、という依頼だと、どんなものがあるかを見てその場でメニューを考えないといけないから時間もかかるかな。



小林さん：私が行っているところは、「この材料でこのメニューを作ってください」という依頼が多いです。1歳の双子ちゃんがいるお家では、夕方離乳食作りをして、食べさせて、お父さんが帰ってくるまでの時間を一緒に過ごしています。夕方は機嫌が悪くなつてグズってしまう時間帯だから。初めての頃は2時間伺っていました。が、この頃は1時間になりました。

妊娠中、出産後、子どもの成長と、その時々さまざまな不安や悩み事が生じます。そんな時に「私たちが応援していますよ、気軽に相談してくださいね」と温かくサポートしてくれる人たちがいます。



家庭も一つひとつ全部違うから

中澤：サポートに行かれる際に、心にかけていらっしゃることはありますか？

安達さん：やはり初めて伺う時は緊張しますね。という人かなあと。第一印象は大事だと思うので、なるべく笑顔で心がけています。それぞれの家庭の教育方針があるところもあるでしょうから、ごまごま踏み込んで良いものかなと気を遣いながらやっています。段々お互い気心が知れてきますね。お子さんも色んな子どもがいるから、どうしたらウマが合うか、色々やりながら一歩ずつ。

小林さん：家族、家庭といっても、一つひとつ全部違いますからね。私は、お子さんに離乳食を作ったり食べさせる時に、食べる気、ヤル気が出るようにと心がけています。